

迎春

平成18年



富士見町議会議長

五味 滋

新年あけましておめでとございます。
町民の皆様におかれましては、ご健勝で新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

冬の観光地としてのスキー場は、昨年12月初旬にオープンすることができ、前年より来客者が大幅に増加し、観光収入も増えることを期待するところであります。

国の経済動向も、少しずつ上向きとの報道もありますが、町をはじめ私達の生活にはまだまだ、浸透していないのが実態であります。

私たち町民は自立の道を選択しました。今こそ知恵と力を出し合って進むべき方策を探さなくてはなりません。その先頭に立つべき議会こそ、強い活動力と指針が必要と考え、心新たに新年を迎えたところです。

町も議会も町民の皆様も、今年は決断の年となると思います。議会においては、各種の改革を検討していますが、議員定数については、次回の町議選から11名としたところです。

今年が町民の皆様にとって良い年となりますようお祈りするとともに、議会として精一杯の努力をすることを誓い申しあげます。町民の皆様のご支援、ご協力をお願いしまして年頭のご挨拶といたします。

12月定例会

公の施設の指定管理者指定

12月定例会は、12月9日から20日までの12日間の会期で開催されました。

町から提出された議案は条例8件、議決案件9件、予算補正3件、人事案件2件の22議案。いずれの議案も審議を行い、すべて原案どおり可決しました。

今定例会では、「公の施設」を民間事業者の活力を活用し、行政の効率化を図る「指定管理者制度」の導入などが主な提出議案であり集中的な審議を行いました。また人事案件では、固定資産評価員に名取重治、教育委員に小池雅子両氏の選任等について同意がされました。

管理委託から指定管理者制度へ

公の施設のサービス向上と

管理の効率化